

# 御前山ビオトープ通信

令和7年11月11日  
第68号

発行：御前山ダム環境センター

メール：[denen21@ktb.biglobe.ne.jp](mailto:denen21@ktb.biglobe.ne.jp)

ホームページ：<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



## 目次

1. 御前山ダム小稲刈り
2. 秋のビオトープ育成活動
3. 御前山ダム湖周辺の状況

## 【案内図】



## 1. 御前山小稲刈り

令和7年9月26日（金）、御前山小学校5年生の稲刈りが行われました。

今年の5年生は18人です。

先日までの猛暑もようやく一段落して過ごしやすい秋晴れとなりました。

9時過ぎにバスで元気に里山の田んぼに到着です。早速、長靴、軍手などの準備をします。

地元集落の皆さんが30名近く、朝早くから田んぼ、テントなどの準備をしてくれて用意万端です。

環境センターから挨拶や稲刈りの説明を受けて、早速稲刈り開始です。

やはり、子供達は手が小さく力がないので、束ねるのが最も難しいようです。地元の師匠の手取り足取りの手助けを受けて、何とか作業が進みます。

束ねた稲藁をオダがけにかけ、最後は先週刈り取ってあった稲わらを体験で脱穀しました。

通称ガーコンはなかなか独特のコツがあり難しいのですが、なんとか順番で体験しました。大人の参加者も挑戦していました。

最後はコンバインで刈り取り脱穀を仕上げましたが、機会も中身は手作業と原理は同じです。



## 2.秋のビオトープ育成活動

10月は週末毎に天候不順でしたが、5日は晴天に恵まれました。

現地は地元で草刈りなどを実施しており、今回は小川の乗り止め、池の漏水対策などが主な作業としました。

環境センターで布団籠や石礫を準備、漏水状況も事前に確認しています。

9時半には70名近い参加者が集合し、環境センター青山会長挨拶、NP



参加者集合

漏水対策



〇から作業の説明があり、早速班別に分かれて作業開始です。

当日は7班に分かれて作業しました。1班は下流部護岸復旧補修（フトン籠）、2班は取水口・池の土砂撤去と取水口上流河川流路改善、3班は取水口下流河川流路改善、4班は池の漏水補修（2ヶ所）、5班は林間希少種（イヌショウマ、フタバアオイ、クマガイソウ等）、6班は湿田希少種（タコノアシ、アギナシ、ミズバショウ、コウホネ等）選抜除草等、7班はダム湖周辺環境整備（堤体下流階段部草刈り（環境センター疋田副会長案内））です。

フトン籠復旧



それぞれ機材を持ち、案件毎に様々な作業を行いました。11時頃には、概ねの作業が終了、一部水利関係は通水して確認が必要ですが、順調に完了しました。

上流の池に堆積した土砂の撤去は初めてで、流路は確保出来ましたが、長期的には本

格浚渫が必要かもしれません。

一部布団籠裏からの漏水箇所は水道が判明せず、今後に観察が必要

中池の漏水は今回が3回目で一応復旧出来ましたが、場所が少し上に移動したので、継続監視が必要

希少種周辺など全体が整備されてきれいになりましたが、一部日照条件の改善が必要かもしれません。

11時半頃から、地元で用意してくれた昼食、更に秋の農産物を大量に用意してもらい、思い思いに持ち帰りました。ありがとうございます。

希少種周辺草取り



堤体下流階段草刈り



今年は鮭の遡上がない、紅葉には少し早い、イノシシが増えてビオトープ内も各所に掘り起こした形跡が

遊歩道からカヌー発着場の工事



下記参照

### 3. 御前山ダム湖周辺の状況

ダム湖の二股橋の近くで工事が行われています。常陸大宮市によるカヌー発着場の工事でした。

ダム湖周辺では様々な取り組みが行われています。

[御前山ダム アクティビティ | GOZENYAMA Activity](#)